

箕面市食品ロス削減推進計画に基づく取組状況

1. 経過

令和3年12月に箕面市食品ロス削減推進計画（素案）について本審議会へ諮問、令和4年2月に答申案について審議を行い、同年3月本審議会（答申）を経て、同月に箕面市食品ロス削減推進計画を策定しました。

本計画に基づき食品ロス発生量の抑制を目的として、これまで、以下の普及啓発を推進してきました。

- ①箕面市の地産地消の観点から実施する恒例イベント「箕面農業祭」にて、イベント事務局である農業振興室と連携し、食品ロス削減の啓発イベントを実施（令和4年度から令和6年度）
- ②環境クリーンセンター社会見学（小学4年生対象）向けに食品ロス削減を学ぶ展示ブースの設置と食品ロス削減に関する説明を実施（本市アプリ「箕面くらしナビ」制作会社の協力を得て講座を実施）（令和4年度から）

2. 令和7年度のイベント等の取組状況

(1) 食品ロス削減推進啓発イベント ～残さず食べて食品ロス削減を～

箕面市×みのおキューズモール「食品ロス削減推進キャンペーン」ガラポン抽選会

開催日時：令和7年11月1日(土)11:00～15:00

開催場所：みのおキューズモール 2F インフォメーション横

【イベントの目的】

「みんなで のこさず おいしく食べよう！」をキャッチフレーズに、食品ロス削減について広く発信と意識づけの機会を創出し、多くの市民に楽しく食品ロスの削減「もったない」「残さず食べる」などの意識づけを目的とする。

【参加方法】

- ①フードコートや専門店などで食事
- ②完食したお皿をスマホなどで撮影（自宅で完食した写真も可）
- ③撮影した写真を受付に提示して抽選会に参加（おひとり1回まで）

【広報活動】

- ・市ホームページに掲示
- ・みのおキューズモールホームページに掲示
- ・市内小中学校22校にポスターを掲示
- ・みのおキューズモール内飲食店街にポスターを掲示
- ・当日イベントチラシの配布
- ・イベント実施結果を市ホームページに掲載

【参加者数・意見等】

参加者 約230名（昨年：約120名）



イベントの様子

(意見等)

- ・ キューズモールのホームページを見て来場しました。こどもたちに、残さないことの大切さを日々伝えているため、良い取り組みだと感じました。食品ロス削減は生活の中で意識していくことが必要なので、このイベントは継続させながら、多角的に意識付けやきっかけ作りになる取り組みをしてほしい。
- ・ こどもにとって、がんばって食べたことへのご褒美になったので良い機会になりました。

【総括】

- ・ 昨年(令和6年度)は広報紙「もみじだより」や箕面 FM のラジオ放送を活用していたが、今年度は市内小中学校やみのおキューズモール内にポスター掲示を行い、より目に入る機会が増える周知方法に変更したことで、前年比約2倍の参加者となった。
- ・ これまでは、食品ロス削減関連のリーフレットを会場に設置するのみだったため、手に取るかたが少数であったが、今回からこどもにガラポンを回してもらう間に、保護者のかたに直接お渡しする方法に変更したことで、参加者全員が帰宅してからも食品ロスの削減について考える機会を創出することができた。
- ・ 課題点として、イベント前半は、事前に配布したイベントチラシを確認して来られるかたが多く、参加方法を理解したうえで来られていたが、後半は、みのおキューズモール内に掲示しているポスターかブースでの案内を見て参加されるかたが多くなり、写真の撮り忘れにより参加できないかたが多く見受けられたため、より多くのかたへイベントの趣旨や目的の理解と、食品ロスに対する意識づけの検討していく必要がある。

(2) 食品ロス削減に関する出前講座

令和4年度より、本市アプリ「箕面くらしナビ」制作会社である株式会社 G-Place の協力を得て、小学4年生を対象とした環境クリーンセンター社会見学の時期に食品ロス削減を学ぶ出前講座を実施しています。令和7年度は、市内小学校3校に直接出向き、環境クリーンセンターのごみ処理の仕組みの紹介とあわせ食品ロス削減出前講座を実施しました。日本や世界の取り組みだけでなく、箕面市で行っている地産地消を取り上げ、食品ロスへの対策は身近なところから可能であるという意識づけの機会としました。



小学校出前講座の様子

3. 北摂地域 7 市 3 町との取組状況

島本農林業祭

開催日時：令和 7 年 11 月 29 日(土)9：00～12：00

開催場所：島本町 史跡桜井駅跡公園

【イベント参加の目的】

令和 5 年 12 月 1 日、北摂地域 7 市 3 町及び北摂地域に店舗を有する 11 事業者が相互に連携・協働し、資源の消費を抑制し、環境への負荷を低減することにより、循環型社会の形成に資することを目的として、「北摂地域における食品ロスの削減及び容器包装を含めたプラスチックに係る資源循環の促進等に関する協定」を締結しました。

この協定締結や取組みについて広く周知するため、昨年度(令和 6 年度)は大阪府と吹田市が主催の食品ロス削減イベントに協議会として参加しました。令和 7 年度は協議会の座長である島本町主催の農林業祭に参加しました。



島本農林業祭の様子

【活動内容】

- ・フードドライブ活動の協力支援及びフードドライブの存在や寄付の有無といったアンケート調査の実施
- ・ブース内で食品ロスを減らす方法や日本での実態に関する啓発パネルを展示
- ・協定を結んでいる 11 事業者の食品ロス削減の取組内容を掲載したチラシを配布

4. 計画目標の達成状況

(1)食品ロス量

	平成 12 年度(基準値)	令和 6 年度*	令和 12 年度(目標値)
家庭ごみ	94.35 g/人/日	63.89 g/人/日	47.17 g/人/日
事業系ごみ	49.71 g/人/日	40.87 g/人/日	24.85 g/人/日

※大阪府全体の家庭ごみに占める最新食品ロス量の調査結果食品ロス率:13.0%(令和4年度)を本市ごみ量に適用して食品ロス量を算出しています。

(2)食品ロス削減に取り組む市民の割合

市民満足度アンケート設問「まだ食べられる食品を捨てない工夫をする」について、「いつもする」と回答した人の割合

令和 7 年度	令和 12 年度(目標値)
69.5%	76.1%

5. 今後の主な取組みについて

箕面市内の現状を的確に把握するため、調理くずや食べ残し、手つかずの食材などの食品ロス項目を含めた、事業系ごみ及び家庭ごみの組成分析調査を実施する予定です。本調査は、市内におけるごみの実態を詳細に分析し、今後の効果的な食品ロス削減や廃棄物対策の取組みを推進するための基礎資料とすることを目的としています。(令和8年度)